

「高校で地域連携促進を」

県総合教育会議で中間報告

川勝平太知事と県教育委員が意見交換する県総合教育会議の第3回会合が15日、県庁で開かれた。川勝知事の諮問会議「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会」内に設置された「才徳兼備の人づくり小委員会」が協議している「新しい時代に対応した高校教育の在り方」について中間報告が行われた。

小委員会から委員長池上重弘静岡文化芸術大英語・中国語教育センター長が出席。中間報告で、高校教育の課題として校外の地域資源の活用や教員の多忙化、地域の実情に応じた学校づくりなどを挙げた。本県の高校教育に求める姿として、地域社会に開かれた教育や地域資源を生かした教育の充実を盛り込んだ。本年度内に最終報告をまとめる。

教育委員からは、高校と地域の企業などとの連携を支援するコーディネートターの必要性や人材確保、現状の課題に加えて中長期的な社会の変化を踏まえた目標設定などを求める意見が挙げられた。